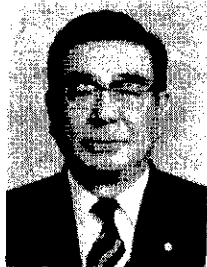


年頭のあいさつ

村長 上村賢造



新年おめでとうございます。
みなさまには御健勝にて迎春のこととお慶び申し上げます。

私も元気に新玉の年を迎えて、神前に柏手をうち、仏前に香を焚き明しを捧げて身の息災を寿ぐことができました。さて本年は「申年」でありまして、昔から猿真似といつて猿は小賢いものの代名詞であり、又三猿主義といつて処世訓にしたといわれております。

見ざる、聞かざる、言わざるは処世訓の最たるものの例えでありましたが、これは江戸時代のような天下泰平な鎮国時に生を受け、封建治下のおしきせの生活を、暇を持てあまし、無聊をかこつていた有閑庶民の社会像であつて、国際的激動の世に生まれ、その中から立ち上がらなければならぬ現代庶民の生活態度ではないのであります。甘くもなく、塩辛くも

ない生活の中で、毎日の仕事に追われ、傍目もふらずに働いている者には、とても他人のことに口を出したり、耳を傾けている暇そのものがないのであつて、よい娯楽のあるい社会の論議は別として、この三猿主義はこちらから返上しなければならぬ現代といつてもよいのではないだろうか。

さて、いよいよ一九八〇年代の幕明けとなりましたが、今日の世界、国内情勢はどのように推移することでしょう。国際情勢はまことに予断を許さない現状であり、中近東特にイランと米国の確執は、世界の各国を――程度の差こそあれ――その渦中に巻き込むことは必定であります。殊にわが国のようにエネルギーの殆んどを輸入に依存しているものにとつては重大事件であります。このことでも二、三月の頃になれば更に険悪化しているものか、又平和に交渉できる段階になるものか、先のことは解らないのであります。このような国際情勢に加えて、国内的にも低成長という好ましからざる

経済がわれわれの上ののしかつていので、樂觀などといった甘いものではないのであります。

昭和五十五年度の国家予算を編成するに当たつても、従来の高成長時のつけを今後長期にわたつて整備、解決してゆかねばならない有様です。

米の生産過剰による水田利用再編対策の強化、生産者米価の据え置き、かてて加えて消費者米価の引き上げ、更には外国農産物の攻勢にゆらぐ農業経済の苦境、国鉄郵便料金、健保、電気、ガスと値上げのラッシュであり、各種補助金の見直し――それに伴う補助金の整理縮小、又は打ち切り、従米聖域とされてきた文教、厚生福祉政策の再検討による受益者の一部負担等、国民負担への押し返しなど大蔵省は鋭意検討中と報道されております。勿論これらのことが直ちに大蔵省の考え通り逆戻り政策としてわれわれ国民の前に、スナナリ出現するとは考えられませんが、国内の財政はこと程左様にきびしいものであることは間違いない。このことは当然末端自治体に影響するものであります。自治体には自治体としての事情、思惑、経緯等がありますの

で、その間の状況の中で、色々検討し、最善を尽くさなければならぬのであります。

一九八〇年は財政再建の初年度であり、将来長期にわたつて不況下の諸政策が打ち出されるものと承知しなければなりません。

われわれは此の際覚悟を新たに、して恵まれた自然環境を生かし、

―― 国民年金 ――

現況届の提出期限が変わります

国民年金の老令年金、通算老令年金の事務は、東京の社会保険庁で行なわれております。年金は、みなさんが裁定請求の際に希望した金融機関を通して、年四回（通算老令は二回）支払われます。この年金の支払いは、社会保険庁が毎年みなさんの生存を確認したうえで行なわれております。みなさんが年金を引き続いて受けるためには一年一回社会保険庁に生存していることの証明を提出しなければなりません。このことを現況届とい

ます。現況届の用紙（ハガキ）は今までは一月中旬頃社会保険庁から送付され、二月十五日が提出期限となつておりましたが、今年度から各受給者の誕生日の一月前

に送付される予定ですので誕生日

豊かな村づくりと、より高度の環境整備と民生の安定、向上に努力しなければならぬのであります。ので、村民みなさまのより一層の御指導と御鞭撻をお願いする次第であります。

以上簡略であります。述べて年賀の御挨拶とし、併せて皆様の益々の御多幸をお祈りいたします。

の月の末日までに必ず市町村長の証明（証明料一〇〇円）を受けて社会保険庁に提出して下さい。現況届が期限までに提出されない、引き続いて年金を支払つてよいかどうかの判断がつかせんの届が提出されるまでの間、年金を一時差し止められることもあります。

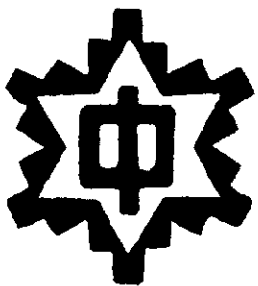
（昭和五十四年所得税源泉徴収票が一月下旬に送付されますのでその裏面を御覧下さい）尚、今年度だけ一月・三月生れの人について従来通り提出期限が二月十五日となつておりますので、忘れない様提出して下さい。

善意をありがとう

桂の山本重雄さんより故父山本芳治さんの香代返しとして社会福祉協議会に三万円寄付されました。

学校紹介

―― 田沢中学校 ――



生徒数 二〇五名
教員数 一五名

◎学校の沿革（概要）

昭和二年四月、田沢村立田沢中学校として小学校校舎の一部を借用して創立する。昭和二年一月独立校舎として現校舎が落成する。昭和三〇年三月、町村合併により中里村立田沢中学校と改称。当時、高道山、小出に分校が設置されていたが、三十五年九月本校へ統合された。三十九年七月土倉分校も本校へ吸収された。

昭和三十七年二月体育館落成。つづいて四三年十一月小学校共有のプールが完成される。五二年一月には、創立三〇周年記念として、ささやかではあったが先輩各位のきずかれた伝統と努力をしのびながら式典が挙行された。

◎三〇年の歩みのなかで、栄光を讃える。

四七年二月第九回全国中学校スキー大会で、村山勝利君が県代表継走チームに加わり三位を獲得。五〇年八月第六回新潟県中学校選抜総合体育大会で、杉谷清之君が三種競技で優勝。つづいて一月第六回全日本ジュニア陸上競技選手権大会で砲丸投五位の栄光を得る。

また、四九年七月、中越地区中学

校陸上競技大会で村山悦子さんが八〇メートルHで二位。五二年七月第二十三回全国中学校通信陸上競技大会で服部勝志君が三種競技で二位を得る。五〇年七月には中越地区中学校陸上競技大会で桑原浩君が八〇メートルで二位となる。

さらに、五〇年八月新潟県中学校選抜総合体育で赤沢浩君が一〇メートルHで優勝する。

球技の部においても伝統ある栄冠としてのバスケットボール、野

中里村奨学金

申し込みは三月十五日まで

中里村育英事業委員会では、昭和五十五年四月からの育英資金貸与希望申し込みを次の要領で受け付けています。

一、申し込み資格

高等学校を卒業した者、又はこれを同等以上の資格を有する者で大学入学を希望している人、又は現在大学に在学している人

二、貸与予定人数
五名以内

三、申し込み方法
貸与希望者は、次の書類を添えて三月十五日までに育英事業委員会（教育委員会内）あて申し込みして下さい。

球など数々の栄光を讃えることができる。

最後に最近の栄光として上原義浩君が走高跳で都市で優勝し、中越大会で二位を得て県大会の出場権を獲得する。五四年八月に行われた第一〇回新潟県中学校選抜総合体育大会で走高跳六位の栄冠を勝ち得ることができた。

以上、紙面の都合により四七年以降おもなものを列記したが、都市内大会においては数々の戦果がある。

新潟県史刊行の案内

新潟県立百年の記念事業として、昭和五十一年よりはじめられた「新潟県史」全三十七巻の編さん、順調に進行してきましたがいよいよ今年度末「近世、下越編」「近代明治維新編I」が刊行されます。

「新潟県史」は原始、古代から現代までを全三十七巻にまとめよ

うという大規模な編さん事業です。村民の一人でも多くが、これを通して、過去をかえりみ、県の明るい未来を展望する資とされるようおすすめします。

（定価及び申し込み方法）

資料編8、近世三 下越編

四、六〇〇円

資料編13 近代一 明治維新編I

四、八〇〇円

（申込先）

951 新潟市学校町通一番町六〇二

〒 県総務部県史編さん室

電（〇二五二） 23―五五―一

内線三〇二五

（申込方法）

電話又は官製ハガキで、氏名、住所、電話番号、入用券名、冊数及び公用、私用の別、郵送か直接購入（この場合は、新潟市内第一印刷所か旭光社印刷所に出向いて直接購入すること）の別を明示して下さい。

（申込締切）

昭和五十五年二月末日（購入もこれのないよう、出来るだけ早くお申し込み下さい）

尚、申し込み用ハガキが若干残っていますので、希望者は公民館へおいで下さい。